

STANDARD HORIZON

Nothing takes to water like Standard Horizon

Floating Transceiver with GPS

HX851JLシリーズ 取扱説明書



HX851JL
[ブラック]



HX851JL B
[マリンブルー]

- この製品は、船舶共通通信システム 国際 VHF 無線機です。
ご使用になるには、第三級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。
- DSC 機能を搭載しています。
DSC機能をご使用になるには、第二級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。

お読みになった後は、大切に保管してください。

目次

特長.....	3	個別コール.....	24
国際VHF無線局を開局される皆様へ.....	4	『個別コール』のしかた.....	24
操作早見表.....	5	『個別コール』を受けると.....	25
リセット操作.....	5	グループコール.....	26
各部の名称と働き.....	6	『グループコール』のしかた.....	26
安全上のご注意.....	8	『グループコール』を受けると.....	27
お使いになる前に(準備).....	10	全船コール.....	28
ベルトクリップの取り付け/取り外し.....	10	『全船コール』のしかた.....	28
電池パックの取り付け/取り外し.....	10	『全船コール』を受けると.....	29
アンテナの取り付け/取り外し.....	11	位置情報要求.....	30
ボトムカバーの取り付け.....	11	『位置情報要求』のしかた.....	30
電池パックの充電.....	12	『位置情報要求』を受けると.....	31
使いかた.....	14	位置情報送信.....	32
基本操作.....	14	『位置情報送信』のしかた.....	32
キーロック操作.....	15	『位置情報送信』を受けると.....	33
送信出力の切り替え.....	15	DSCログ(受信履歴ファイル).....	34
その他の機能と操作.....	16	DSCログの見かた.....	34
プリセットチャンネル.....	16	DSCログの削除.....	35
スキャン操作.....	18	テストコール.....	36
2波受信.....	19	『テストコール』のしかた.....	36
ランプ/ストップ機能.....	19	『テストコール』を受けると.....	37
遭難通報.....	20	設定メニュー操作.....	38
『遭難通報』の出しかた.....	20	付属品・オプション.....	50
『遭難通報』を受信すると.....	22	乾電池ケース(FBA-38).....	51
		定格.....	52

- 国際VHF規格 総務省技術適合証明取得機種
- 国際VHFで使われる全てのチャンネルをカバー：緊急連絡用チャンネルの“チャンネル16”，“チャンネル9”を含む，国際VHFに割り当てられている全てのチャンネルを使用することができます。
- GPS内蔵・DSC機能対応：GPSによる位置情報，DSC機能による緊急通信，個別コール，グループコールなどの便利な機能を使うことができます。
- 送信出力5W：長時間の連続送信においても安定した送信出力を確保します。送信出力は【H/L】キーで簡単にハイパワー“5W”からローパワー（“4W”，“2.5W”，または“1W”）に変えることができます。相手が近くにいる時はローパワーにしてバッテリーの運用時間を延ばすことができます。
- 防水フロートイングトランシーバー：水上に落ちとしても安心な防水型フロートイングハンドイトランシーバーです（IPX7：1m，30分）。
- エルゴノミックデザイン：手袋をしていてもフィット感のあるエルゴノミックデザインに大型の操作キーを採用していますから，悪天候の船上でも操作性は抜群です。
- LED照明付大型ディスプレイ：LED照明付きの大型フルカラーマトリックス液晶ディスプレイを採用しました。夜間でも瞬時に動作状態を確認することができます。
- E2O対応：新しく採用したイージー・ツー・オペレート(Easy 2 Operate)に対応していますので，操作がとても簡単です。
- プリセットメモリー：簡単な操作で連絡用チャンネルのメモリー/呼び出しができる，プリセット型の10チャンネルのメモリーチャンネルを採用しました。
- 緊急連絡用チャンネルキー：緊急時，瞬時に緊急連絡用チャンネルの“チャンネル16”，“チャンネル9”にアクセスすることができる専用キーを中央に配置しました。
- 大音量700mWスピーカー採用：大音量のスピーカーを採用していますから，航行中の船上でも十分な音量で聞くことができます。
- 2波受信機能：仲間との連絡用チャンネルと非常用の緊急チャンネルを自動で交互にチェックすることができます。緊急チャンネルと連絡用チャンネルの両方に信号が入った時は緊急チャンネルを優先して受信します。
- 大容量リチウムイオンバッテリー：1150mAhのリチウムイオン電池を採用し，通信機メーカーとして培った優れた高周波回路設計技術によって，一回の充電で長時間の運用を可能としています。長距離のクルージングにも安心して使用できます。また非常時にアルカリ電池で使用することができる，アルカリ乾電池ケースをオプションで用意しています。
- 高輝度長残光性蓄光顔料を採用した防水パッキン：フロントパネルとリアパネルの間の防水パッキンに高輝度長残光性蓄光顔料を調合しました。夜間にトランシーバーの位置がわかるのでとても便利です。（高輝度長残光性蓄光顔料は光の種類，照射時間によって残留発光時間が大きく変わります。もっとも効果のある場合，視認できる時間は約1時間程度です。）
- 高輝度白色LED：高輝度白色LEDを採用しました。通常を送信/受信表示のほかに，高輝度白色LEDを利用して夜間にペンライトの代わりとして使用することもでき，たいへん便利です。

国際 VHF 無線局を開局される皆様へ

八重洲無線の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機をお使いになる前に、下記の注意事項をお読みください。

■ 無線技士の資格が必要です。

この製品をご使用になるには、第三級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。また、DSC機能をご使用になるには、第二級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。

■ 無線局を開局するためには電波法に基づいた手続きが必要です。

無線申請用紙に必要事項を記入のうえ、国の収入印紙(県の収入印紙は認められません)を添付し、主たる停泊港を管轄している総務省地方総合通信局(沖縄の場合は沖縄総合通信事務所)へ申請書を提出してください。審査に合格すると免許状および申請書の写しが返送されてきますので、免許状が届いてから運用を開始してください。**無線局の免許を受けずに無線局を運用した場合は、懲役 1 年以内、罰金 100 万円以下の処せられる場合があります。**

■ DSC 機能をご使用になる場合は、MMSI 番号を無線機に登録する必要があります。

DSC機能をご使用になるには、免許状に記載されたMMSI番号(海上識別信号)を無線機に登録する必要があります。

DSC機能は、遭難や緊急時に船舶名や免許人名などの重要な情報を通知するためのものですので、必ず登録をお願いします。

登録方法は46ページに記載していますので、間違いのないよう正しく登録してください。

■ 運用マナーを守って運用してください。

国際VHFはアマチュア無線や携帯電話と違い、遭難通信などの重要な通信を行うものです。また、我が国では、旅客船の定期運行通信、貨物運行などの業務通信、港の施設との航行安全の情報交換等、とても大切な通信も含まれます。運用ルールを守り、私用での通信は絶対止めましょう。

私用通信により遭難等の通信を妨害した場合、懲役 1 年以上の有期懲役に処せられる場合があります。

操作早見表

下図の丸数字の番号順に従って操作すると、基本的な運用が行えます。



リセット操作

【プリセットメモリーをすべて消去する】

プリセットメモリーに登録したチャンネルを、一度にすべて消去することができます。

1. 【電源】ボタンを押して、一度電源を“OFF”にします。
2. 【プリセット】ボタンを押しながら【電源】ボタンを押して電源を“ON”にします。

【お買い上げ時の状態に戻す】

操作がわからなくなったり、おかしい動作をするようなときは、下記の操作を行うことにより、すべての設定状態をクリアして、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

1. 【電源】ボタンを押して、一度電源を“OFF”にします。
2. 【スキャン(2波)】ボタンと【16/9】ボタンを押しながら【電源】ボタンを押して電源を“ON”にします。

各部の名称と働き

【音量調節ボタン】

このボタンを押したあと、
[▼]/[▲]ボタンで受信音
量を調節することができる
ようになります。

【[▼]/[▲]ボタン】

- チャンネルを選びます。
- 音量を調整します。
- スケルチレベルを調整します。
- “DSCメニュー”/“設定メニュー”操作時、各種の項目を選びます。

【送信ボタン】

送受信を切り替えるボタ
ンです。
相手に話しかけるときの
は、このボタンを押しながら
マイクに向かって話しま
す。
相手の話を聞くときは、こ
のボタンを離します。

【スケルチボタン】

このボタンを押したあと、
[▼]/[▲]スイッチでスケル
チレベルの調整ができるよ
うになります。

【送信出力切替ボタン】

【キーロックボタン】

- 短く押すと、送信する電
波の強さが4段階で切り
替わります。
- 長く押すと、すべてのス
イッチ（音量調節、スケル
チ調節、送信ボタンを除
く）がロックされ、動作し
なくなります。

【スキャンボタン】

【2波ボタン】

- 短く押すと、スキャン※1
が始まります。
- 長く押すと、2波受信※2
が始まります。

【クリアボタン】

【ストロボボタン】

- 各種の操作をキャンセル
するとき、短く押します。
- 長く押すと、LEDランプ
が白く点灯し、照明ラン
プとして使用できます。

【電源ボタン】

長押しするたびに、電源
が“ON”/“OFF”します。

【16/9ボタン】

- 短く押すと、緊急連絡
用チャンネル“CH16”を
呼び出すことができます。
- 長く押すと、呼び出し用
チャンネル“CH9”を呼
び出すことができます。

【コール(エンター)メニューボタン】

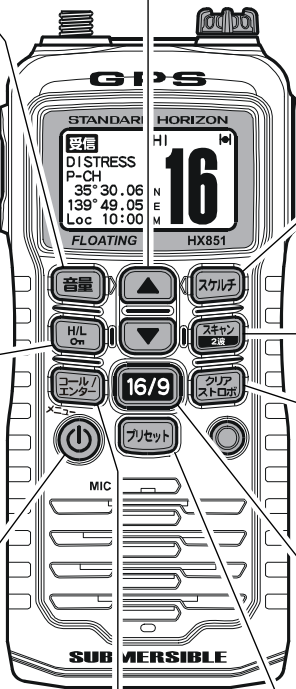
- 短く押すと、“DSCメニュー”が呼び出されます。
- 長く押すと、“設定メニュー”が呼び出されます。
- “DSCメニュー”/“設定メニュー”操作時は、選択
項目の確定を行います。

【プリセットボタン】

- 短く押すと、プリセット
チャンネルを順番に呼び
出すことができます。
- 長く押すと、プリセット
チャンネルを登録したり、
消去したりすることがで
きます。

スキャン: あらかじめメモリー(プリセット)したチャンネルを順番に受
信し、信号の入感するチャンネルを自動的に探し出す操
作です。メモリー(プリセット)できるチャンネルは最大10
チャンネルです。

2波受信: 現在表示しているチャンネルと、優先的に受信したいヤ
ンネル(プライオリティチャンネル)を交互に受信する操
作です。プライオリティチャンネルで信号を受信すると、その
信号を受信し続けます。



各部の名称と働き

【アンテナ接続端子】

付属のアンテナを接続します。

【マイク/スピーカー接続端子】

オプションのスピーカー/マイクロホンを接続します。

防水性を保つため、スピーカー/マイクロホンを接続しないときは、防水キャップをしっかりと取り付けてください。

【液晶ディスプレイ】

運用チャンネルや各種の設定状態などを表示します。

【遭難通報ボタン】

遭難通報を送出します。

赤色のカバーをめくり、中のボタンを約3秒間押し続けることで、遭難信号が送出されます。

【マイク】

ここに向かって話します。

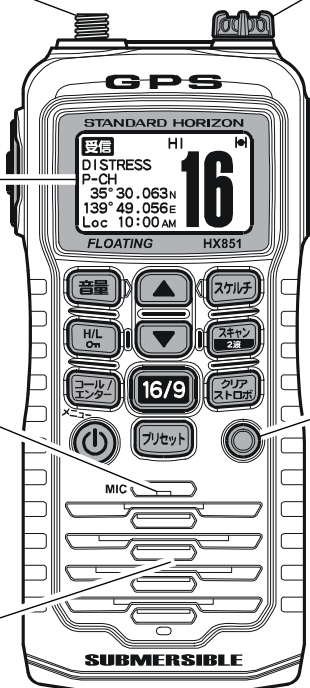
【LEDランプ】

下記のように点灯します。

- ・緑色：信号受信時
- ・赤色：送信時
- ・白色：ランプ/ストロボ操作時

【スピーカー】

ここから相手の声や操作音が聞こえます。






安全上のご注意 (必ずお読みください)





本機を安全に正しくお使いいただくために、必ずお読みください。

お客様または第三者の方が、この製品の誤使用・使用中に生じた故障・その他の不具合、あるいはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上、賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

マークの種類と意味

- | | |
|--|--|
|  危険 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。 |
|  警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。 |



図記号の種類と意味

- | | |
|--|---|
|  本機を安全にお使いになるため、行ってはならない禁止事項です。
たとえば、  は「分解禁止」を示しています。 |  本機を安全にお使いになるため、必ず守っていただきたい注意事項です。
たとえば、  は「電源プラグを外す」を示しています。 |
|--|---|








危険

- | | |
|--|--|
|  当社指定以外の充電器で充電しない。
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。 |  電池の漏液が皮膚に付着したり、目に入ると危険。
化学火傷を起こす恐れがあります。直ちに医者 の診断を受けてください。 |
|--|--|

警告

- | | |
|--|---|
|  分解や改造をしない。
本機は電波法に基づく無線局です。分解や改造をすると違法ですのでおやめください。また、怪我や故障の原因になります。 |  ベルトクリップの取り付けは確実に行ってください。
間違った取り付けかたは、落下によるケガや本体の破損などの原因になります。 |
|--|---|

注意

- | | |
|--|--|
|  引火性のガスが発生する場所で充電しない。
発火事故の原因になることがあります。 |  強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない。
故障の原因になります。 |
|  磁気カードなどを本機に近づけない。
キャッシュカードやフロッピーディスクなどの内容が消去されることがあります。 |  直射日光のあたる場所や熱器具の近くに放置しない。
変形や変色等の原因になります。 |
|  シンナーやベンジンでケースを拭かない。
変形や変色等の原因になります。
ケースが汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。 |  充電器を使用しないときは、プラグをコンセントから抜く。 |
| |  お子様の手の届かない場所に保管する。
ケガなどの原因になります。 |

安全上のご注意 (必ずお読みください)

防水 IPX7 (IJBIS保護等級7種防浸形) 相当について

本機の防水性能は、付属のアンテナと電池/バックを正しく取り付け、さらにマイク/スピーカー接続端子の防水キャップをしっかりと取り付けた状態で、水深1mの水没に30分間耐えることができます。

この防水性能を未永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

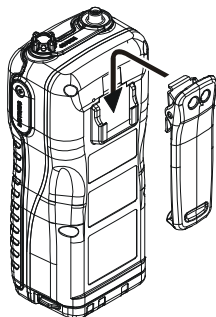
- ◎ キズ、劣化、汚れなどの確認
各ボタンのラバー、マイク/スピーカー接続端子の防水キャップ、電池/バック接合部分。
- ◎ お手入れのしかた
海水・砂・泥などがついたときは、やや弱めの水流の真水で洗い流し、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- ◎ オーバーホールのお奨め
お買い上げから1年経過した後、オーバーホールを行って1年経過した後、あるいは、各ボタンのラバーやマイク/スピーカー接続端子の防水キャップにキズや劣化等が確認されたときはオーバーホールをお奨めます。なお、オーバーホール代金は有償となりますのであらかじめご承知ください。
- ◎ その他の注意
水中では使用できません。

お使いになる前に (準備)

ベルトクリップの取り付け / 取り外し


取り付け

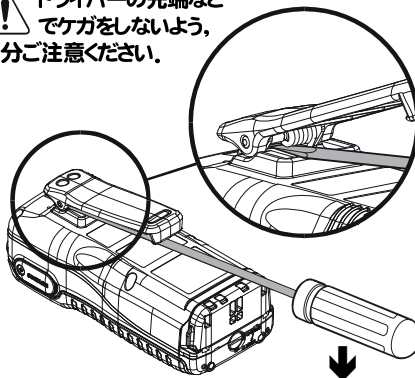
付属のベルトクリップを無線機背面の溝に差し込み、「カチッ」と音がするまでスライドさせます。



取り外し

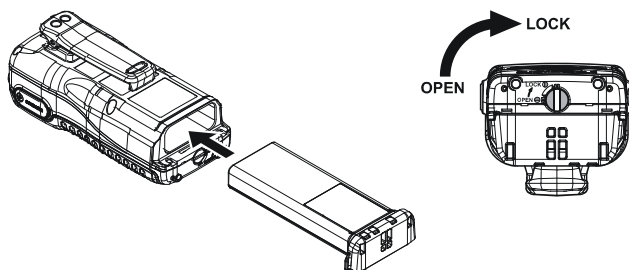
ベルトクリップの根元にマイナスドライバーを差し込み、ドライバーを矢印の方向に押し付けながらベルトクリップを上方にスライドさせて取り外します。

 **ドライバーの先端などでケガをしないよう、十分ご注意ください。**



電池パックの取り付け / 取り外し

- 付属の電池/パック「FNB-V99LI」を無線機底面の電池/パック取り付け穴に差し込み、無線機底面にあるロックつまみをコイン等を利用して右回りに「LOCK」の位置までまわします。
- 電池/パックを無線機から取り外すときは、まず初めに無線機の電源が「OFF」になっていることを確認してください。次に、コイン等を利用してロックつまみを左回りに「OPEN」の位置までまわし、電池/パックを無線機本体から抜き取ります。



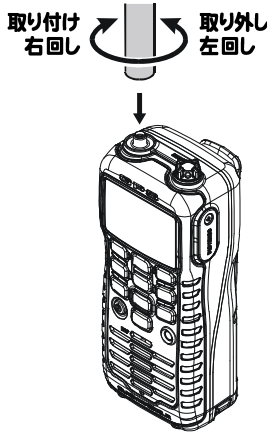
ご注意

- 電池を取り付けるときは、内部に水が入らないよう、十分に注意してください。また、パック内にゴミなどが付着しないよう、十分に注意してください。
- 電池の落下を防ぐため、また電池/パックの接触不良を防止するためにも、ロックつまみは必ず「LOCK」の位置で使用してください。

お使いになる前に (準備)

アンテナの取り付け / 取り外し

- アンテナ下側の太い部分を持って、右回りにまわして取り付けます。
- アンテナを取り外すときは、アンテナ下側の太い部分を持って、左回りにまわして取り外します。



ご注意

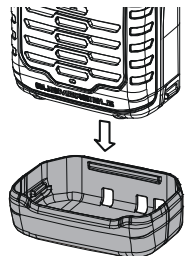
- **アンテナを取り付けない状態では送信しないでください。**無線機が壊れる場合があります。
- アンテナの取り付け・取り外し時には、アンテナの上部を持ってまわさないでください。アンテナが壊れる場合があります。

ボトムカバーの取り付け(マリンブルー仕様のみ)

マリンブルー仕様の製品には、無線機底面に取り付けるボトムカバーが付属しています。

右図を参考に、無線機底面に取り付けてください。ボトムカバーはシリコン製で柔軟性がありますので、取付後、無線機本体にきっちりと合うよう、微調整してください。

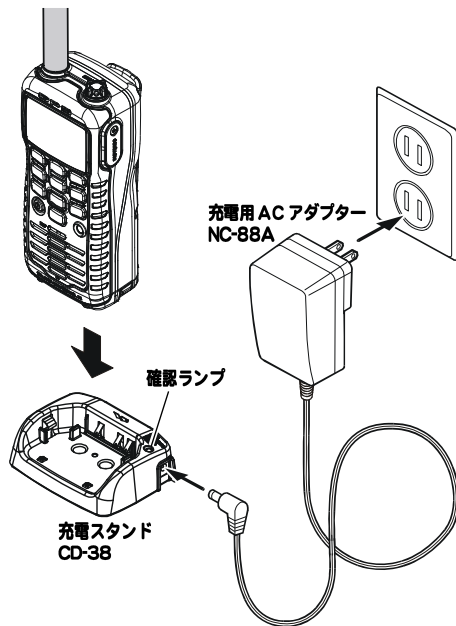
なお、ボトムカバーを取り付けた状態では充電することができませんので、充電する際には、ボトムカバーは無線機本体から外してください。



お使いになる前に (準備)

電池パックの充電 (約8時間充電)


1. 充電用ACアダプター「NC-88A」のプラグを充電スタンド「CD-38」のジャックに差し込み、充電用ACアダプターをAC100Vのコンセントに差し込みます。
2. 無線機の電源が“OFF”になっていることを確認し、無線機を充電スタンドに取り付けます。
3. 正しく無線機が充電スタンドに取り付けられると、充電スタンドの確認ランプが赤く点灯して充電を開始します。充電は約8時間で終了します。
4. 充電が終わると、充電スタンドの確認ランプが緑色の点灯に変わります。
5. 充電が終了しましたら、無線機を充電スタンドから外すとともに、充電用ACアダプターをコンセントから外します。




ご注意

- 充電は、必ず無線機の電源を“OFF”してから行ってください。
- 電池/パックは消耗品です。充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。また、正しい使いかたで約300回充放電することができます。
- 10時間経過しても充電が終了しない場合は、電池の劣化が考えられます。電池/パックを交換して再度充電を行ってください。電池/パックを交換しても正しく充電できないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

電池残量表示について

本機は、電池残量を4段階で表示します。表示が“”になりましたら、すぐに充電してください。

表示無し: 十分使えます。

: まだ使えます。

: 残りわずかです。

: すぐに充電してください。

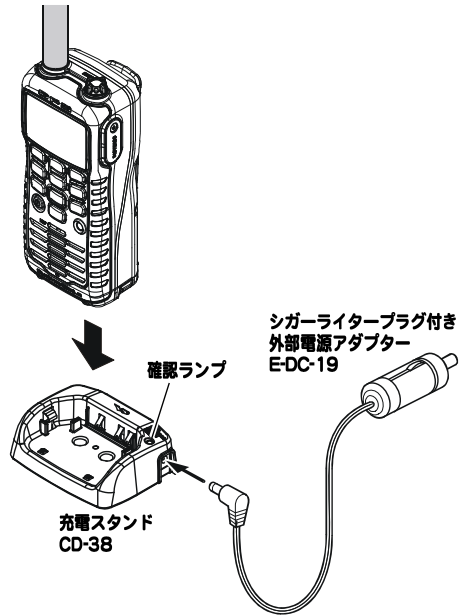


お使いになる前に (準備)

電池パックの充電 (つづき)

お車のバッテリーから充電するときは、充電用ACアダプター「NC-88A」の代わりに付属のシガーライタープラグ付き外部電源アダプター「E-DC-19A」を充電スタンド「CD-38」のジャックに差し込み、お車のシガーライターから電源を取ります。

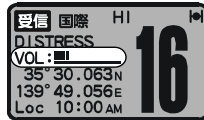
『充電方法』、『充電時間』、『充電時の注意事項』などは、充電用ACアダプター「NC-88A」をお使いになったときと同じです。
ただし、使用できるお車は、バッテリーが12Vの車に限ります。



使いかた

基本操作

1. 【電源】ボタンを長押しして、電源を“ON”にします。
2. 【音量調節】ボタンを押した後に【▼】/【▲】ボタンを押して、聞きやすい音量に調節します。
3. 【スケルチ調節】ボタンを押した後に【▼】/【▲】ボタンを押して、“ザー”という雑音が消える点に調節します。
4. 【▼】/【▲】ボタンを押して希望のチャンネルを選びます。
信号を受信すると、ディスプレイに「受信」の表示が点灯するとともに、本体前面にあるLEDランプが緑色に点灯します。
5. 【送信(PTT)】ボタンを押しながらマイクに向かって話します。
【送信(PTT)】ボタンを離すと、受信状態に戻り、相手の話を聞くことができます。
送信中はディスプレイに「送信」の表示が点灯するとともに、LEDランプが赤色に点灯します。
6. もう一度【電源】ボタンを長押しすると、本機の電源が切れます。



GPS表示について

お買い上げ後、初めて電源を入れたとき、あるいは船内など、GPSの信号を受信できない場合には、右に示すような「警告表示」が点灯します。
このようなときには、船外など、天空の開いた場所へ移動し、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押して、GPSの信号を受信しなおしてください。



本機がGPSの信号を正しく受信すると、ディスプレイに現在の位置(緯度/経度)と時刻を表示します。

- 本機を初めて使用する場合等、GPSの信号を捕捉するのに数分かかる場合があります。
- 周囲の環境により、位置表示に数百mの誤差を生じることがあります。



ご注意

連続して送信できる時間は最大5分です。5分間連続して送信し続けると、送信が自動的に停止する10秒前に警告のブザーが鳴り、その後自動的に送信が停止します。

自動的に送信が停止したときには一度【送信(PTT)】ボタンを離し、10秒ほど経ってから再度【送信(PTT)】ボタンを押して送信してください(自動的に送信が停止したときは、送信停止後約10秒間【送信(PTT)】ボタンの操作ができないように設定されています)。



キーロック操作

誤ってボタンに触れても、チャンネルなどが変わらないようにすることができます。

ディスプレイに「」の表示が点灯するまで【H/L()】ボタンを押し続けます。



【▼】/【▲】ボタンなどを押しても、チャンネルは変わりません。


もう一度【H/L()】ボタンを押し続けると、「」表示が消えてロックは解除されます。

メモ

- キーロック操作中でも、音量調節、スケルチ調節、送信出力の切り替え、送信操作、『遭難通報』の送りは行えます。また、電源を“OFF”にすることもできます。
- キーロック操作は、電源を切っても保持されます。

送信出力の切り替え

送信出力（電波の強さ）を4段階で切り替えることができます。運用規定に則り、設定してください。

【H/L()】ボタンを押すたびに、送信出力が

1W → 2.5W → 4W → 5W → 1W ……

と順番に切り替わります。なお、この設定は、電源を切っても保持されます。

メモ

設定した送信出力に合わせて、ディスプレイに(LO(1W)/M1(2.5W)/M2(4W)/HI(5W))のアイコンが点灯します。



送信出力“1W”
（“LO”が点灯）



送信出力“2.5W”
（“M1”が点灯）



送信出力“4W”
（“M2”が点灯）



送信出力“5W”
（“HI”が点灯）

ご注意



- 電池を長持ちさせるため、必要最低限の出力で送信することをお勧めします。
- チャンネル“CH15”、“CH17”、“CH75”、“CH76”では、送信出力は自動的に“1W”に設定されます。
- チャンネル“CH16”では、送信出力を変更しても、次に呼び出したときは自動的に“5W”に設定されます。

その他の機能と操作


プリセットチャンネル

よく使うチャンネルを、最大10個までメモリー(プリセット)して使うことができます。プリセットチャンネルを使うと、普段よく使うチャンネルをすばやく呼び出すことができます。


プリセットチャンネルの設定方法

1. 【▼】/【▲】ボタンを押して、メモリー(プリセット)したいチャンネルを呼び出します。
2. ディスプレイに「プリセット」のアイコンとプリセットチャンネル番号「プリセット0」が点灯するまで【プリセット】ボタンを押し続けます。これで、表示されているチャンネルが、「プリセット0」にメモリー(プリセット)されました。
3. 続けて他のチャンネルもメモリー(プリセット)する場合は、上記の操作1.と2.を繰り返し続けます。最大10チャンネルまでメモリー(プリセット)できます。メモリー(プリセット)するたびに、表示されるプリセットチャンネル番号が
“0” → “1” → “2” → “3” → “4” → “5” → “6” → “7” → “8” → “9”
と順番に変わっていきます。

プリセットチャンネルの使いかた

- 【プリセット】ボタンを押すたびに、プリセットチャンネルが順番に呼び出されます。ディスプレイに「プリセット」のアイコンが点灯するとともに、プリセットチャンネル番号を約5秒間表示します。

メモリー(プリセット)したすべてのプリセットチャンネルを呼び出した後、さらに【プリセット】ボタンを押すと、「プリセットチャンネルを呼び出す前に使用していたチャンネル」が呼び出されます。さらに【プリセット】ボタンを押すと、再びプリセットチャンネルが順番に呼び出されます。

- プリセットチャンネルを使用しているときに【▼】/【▲】ボタンを押すと、現在表示しているプリセットチャンネルの上(【▲】ボタンを押したとき)または下(【▼】ボタンを押したとき)のチャンネルが表示されます。

その他の機能と操作

プリセットチャンネル (つづき)

プリセットチャンネルの消しかた

プリセットチャンネルは以下の方法で消すことができます。

1. 【▼】/【▲】ボタンを押して、消したいプリセットチャンネルを呼び出します。
注意：プリセットチャンネル番号は、チャンネル呼び出し時に約5秒間だけ点灯します。
2. 【プリセット】ボタンを押し続けると、「プリセット」のアイコンが消えて、消去完了です。



その他の機能と操作

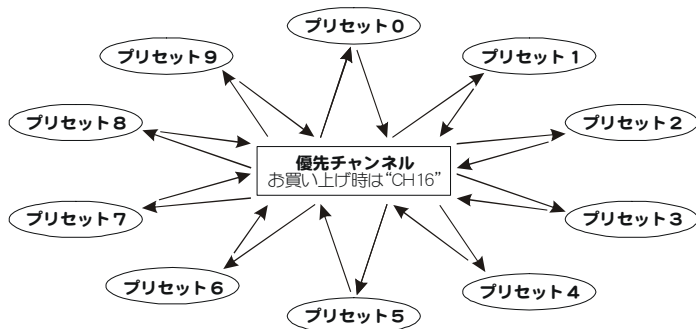
スキャン操作

あらかじめ設定された“優先チャンネル”（お買い上げ時は“CH16”）とプリセットチャンネルを自動的に順番に受信し、信号があるチャンネルを探し出す操作です。

- 【スキャン(2波)】ボタンを短く押すと、あらかじめ設定された“優先チャンネル”（お買い上げ時は“CH16”）とプリセットチャンネルを自動的に順番に受信します。

ディスプレイに「P-スキャン」の表示が点灯します。また、プリセットチャンネルを受信しているときには「プリセット」のアイコンが点灯します。

下図に示すように、“優先チャンネル”を間に挟んで、プリセットチャンネルを順番に受信していきます。



- スキャン操作を止めるには、【クリア(ストロボ)】ボタンを押します。「P-スキャン」の表示が消えて、通常の運用方法に戻ります。



メモ

- プリセットチャンネルだけをスキャンするように変更できます。詳しくは41ページをご覧ください。
- “優先チャンネル”（お買い上げ時は“CH16”）を変更することができます。詳しくは40ページの設定メニュー操作「基本設定（プライオリティーCH）」をご覧ください。

その他の機能と操作

2波受信

あらかじめ設定された“優先チャンネル”と、現在表示しているチャンネルを交互に受信することができます。お買い上げ時には、“優先チャンネル”は緊急連絡用チャンネル“CH16”に設定してあります。

1. **【スキャン(2波)】**ボタンを長押しすると、現在表示しているチャンネルと“優先チャンネル”（お買い上げ時は“CH16”）を交互に受信します。
ディスプレイに「**2波-16CH**」の表示が点灯します。
2. “優先チャンネル”（お買い上げ時は“CH16”）に信号が入ると、その信号を受信し続けます。このとき、チャンネル表示は点滅します。
3. “優先チャンネル”の信号がなくなると、再び2つのチャンネルを交互に受信します。



2波受信を止めて、通常の運用方法に戻すには、**【クリア(ストロボ)】**ボタンを押します。



メモ

“優先チャンネル”の変更は設定メニュー操作で行います。詳しくは40ページの設定メニュー操作「基本設定(プライオリティーCH)」をご覧ください。

ランプ/ストロボ機能

LEDランプを白色高輝度で点灯させて、照明ランプとして使用できます。

1. **【クリア(ストロボ)】**ボタンを長押しします。
LEDランプが白色高輝度で点灯します。
2. もう一度**【クリア(ストロボ)】**ボタンを長押しすると、消灯します。

メモ

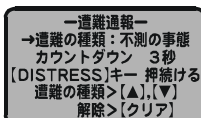
- 照明ランプを使用中に他局(船舶局/海岸局)からの信号を受信すると、LEDランプは緑色の点灯に変わります。
また、**【送信(PTT)】**ボタンを押している間(送信中)は赤く点灯します。
- LEDランプの動作を「ランプ動作」から「ストロボ動作」に変更することができます。詳しくは40ページの設定メニュー操作「基本設定(LED設定)」をご覧ください。

遭難通報

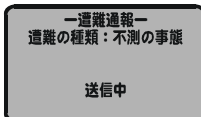
『遭難通報』の出しかた

自船で、生命を危険にさらすような状況が生じた場合には、下記の手順で『遭難通報』を送出してください。

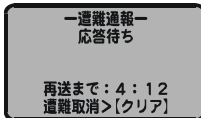
1. **【DISTRESS】**の赤いカバーをめくり、中の**【遭難通報】**ボタンを押し続けます。
ディスプレイの照明ランプが点滅します。



2. **【遭難通報】**ボタンを押し続けると(約3秒間)、ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わり、『遭難通報』を送出します。

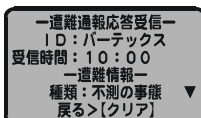


3. チャンネルが自動的に緊急連絡用チャンネル“CH16”になり、他船からの応答を待ちます。



他船からの応答が無い場合には、約4分後に再度『遭難通報』を送出します(他船から応答があるまで、自動的に繰り返し『遭難通報』を送出します)。

4. 他船からの『応答メッセージ』を受信すると、ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わります。



5. **【クリア(ストロボ)】**ボタンを押します。



6. **【送信(PTT)】**ボタンを押しながらマイクに向かって、次の情報をゆっくり、はっきり伝えます。



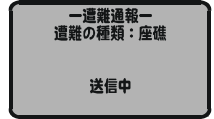
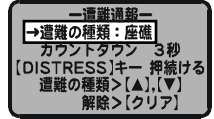
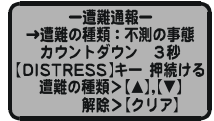
- 1) メーデー、メーデー、メーデー
- 2) こちらは「船名または自船のID番号」です。(3回繰り返します)
- 3) メーデー
- 4) こちらは「船名または自船のID番号」です。
- 5) 自船の位置(緯度/経度)
- 6) 遭難の状況
- 7) 要請する救助次項
- 8) 救助を待つ人数
- 9) その他、救助の役に立つ情報(船の大きさ、色、タイプなど)
- 10) どうぞ

『遭難通報』の出しかた (つづき)

□ 遭難原因を指定して『遭難通報』を送出することができます。

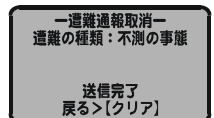
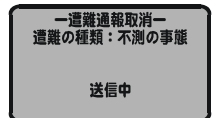
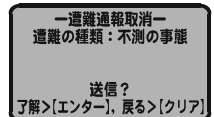
1. 【DISTRESS】の赤いカバーをめくり、中の【遭難通報】ボタンを短く押します。
ディスプレイの照明ランプが点灯します。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して遭難原因を選びます。
『不測の事態』、『火災』、『浸水』、『衝突』、『座礁』、『転覆』、『沈没』、『漂流』、『放棄』、『海賊』、『落水』の中から選びます。
3. 【遭難通報】ボタンを押し続けます。
ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わり、『遭難通報』を送出します。

以後動作は、前ページの操作3.以降の動作と同じです。



□ 誤って『遭難通報』を送出してしまったときは、他船からの応答を待っている間に(前ページの操作3.のときに)下記の操作を行い、『遭難通報取消』を送出してください。

1. 【クリア(ストロボ)】ボタンを押します。
2. 【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。
ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わり、『遭難通報取消』を送出します。
3. 『遭難通報取消』の送出自が完了すると、ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わります。
4. 【クリア(ストロボ)】ボタンを押します。
通常の運用方法に戻ります。



遭難通報

『遭難通報』を受信すると...

1. 他船からの『遭難通報』を受信すると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わります。
受信するチャンネルが自動的に、緊急連絡用チャンネル“CH16”に変わります。
2. 【クリア(ストロボ)】ボタンを押してアラーム音を止めます。
他のスイッチを押しても、アラーム音は止まりません。
3. 【▼】/【▲】ボタンを押すと、『遭難通報』を送出した局(船)の位置情報などの詳細情報を見ることができます。
4. もう一度【クリア(ストロボ)】ボタンを押すと、通常の表示に戻ります。
5. 必要に応じて、連絡を取ります。

—遭難通報受信—
ID: パーテックス
受信時間: 10:00
—遭難情報—
種類: 不測の事態 ▼
戻る>【クリア】

—遭難通報受信—
遭難局: パーテックス ▲
位置: 35°29.053N
139°47.046E
位置時間: 10:00 AM
戻る>【クリア】

国際 HI |
DISTRESS
P-CH
35°29.053N
139°47.046E
Loc 10:00 AM **16**

メモ

個別コール

『個別コール』のしかた

下記の手順で、特定の船舶局または海岸局を個別に呼び出すことができます。

1. 【コール(エンター)メニュー】ボタンを短く押します。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して『個別コール』を選び、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。
3. 【▼】/【▲】ボタンを押して『マニュアル』を選び、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。

あらかじめ、呼び出したい局(船舶局または海岸局)が「個別アドレス帳」に登録してある場合は、その局を選んで【コール(エンター)メニュー】ボタンを押し、操作5へ進みます。(登録方法は36ページの“DSC設定(個別アドレス帳)”を参照してください)。

4. 【▼】/【▲】ボタン(数字の選択)と【H/L(On)】/【コール(エンター)メニュー】ボタン(桁の移動)を操作して呼び出した局のID番号(9桁)を入力し、【コール(エンター)メニュー】ボタンを長押しして確定します。

5. 【▼】/【▲】ボタンを押して通話チャンネルを選び、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。

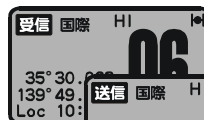
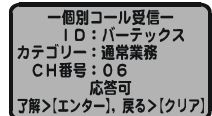
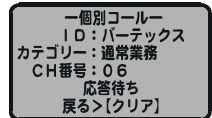
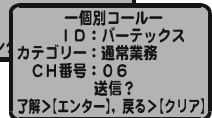
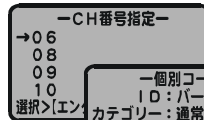
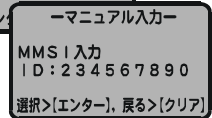
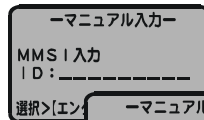
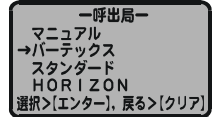
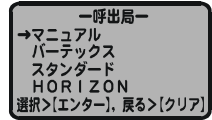
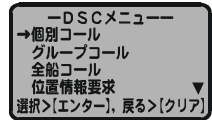
6. もう一度【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。
自動的に送信状態になって相手局を呼び出し、その後、呼び出した局からの応答を待ちます。

7. 呼び出した局からの『応答メッセージ』を受信すると、呼び出し音が鳴るとともに、チャンネルが自動的に上記の操作4. で設定したチャンネルに移ります。

8. 【クリア(ストロボ)】ボタンを押してアラーム音を止めます。
他のボタンを押しても、アラーム音は止まります。

9. 【コール(エンター)メニュー】ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。

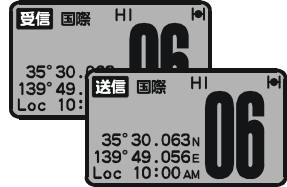
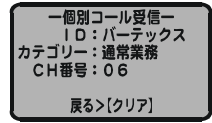
10. 【送信(PTT)】ボタンを押しながらマイクに向かって、呼び出した局と交信します。



『個別コール』を受けると...

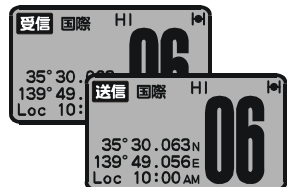
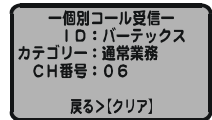
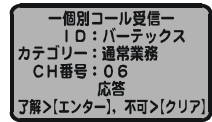
自動応答機能が“ON”の場合

1. 他船からの『個別コール』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイに『個別コール』を行った局のD番号(または船名)を表示します。また、チャンネルが自動的に、『個別コール』を行った局が指定したチャンネルに変わります。
2. **【クリア(ストロボ)】**ボタンを押してアラーム音を止めます。他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. もう一度**【クリア(ストロボ)】**ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。
4. **【送信(PTT)】**ボタンを押しながらマイクに向かって、『個別コール』を行った局と交信します。



自動応答機能が“OFF”の場合

1. 他船からの『個別コール』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイに『個別コール』を行った局のD番号(または船名)を表示します。
2. **【クリア(ストロボ)】**ボタンを押してアラーム音を止めます。他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. 応答できないときには【クリア(ストロボ)】ボタンを押します。『個別コール』を行った局に対して「応答不可」のメッセージを送り、通常の運用方法に戻ります(以上で操作は終了です)。
4. 応答可能なときには**【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。チャンネルが自動的に、『個別コール』を行った局が指定したチャンネルに変わり、『個別コール』を行った局に対して「応答可」のメッセージを送ります。
5. もう一度**【クリア(ストロボ)】**ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。
6. **【送信(PTT)】**ボタンを押しながらマイクに向かって、『個別コール』を行った局と交信します。



メモ

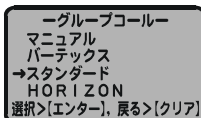
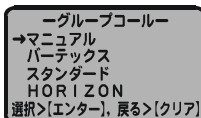
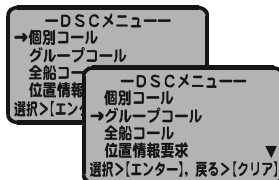
自動応答機能の“ON/OFF”切り替えは、設定メニュー操作で行います。詳しくは43ページの設定メニュー操作「DSC設定(個別コール応答)」をご覧ください。お買い上げ時は、応答機能“ON(自動)”に設定されています。

グループコール

『グループコール』のしかた

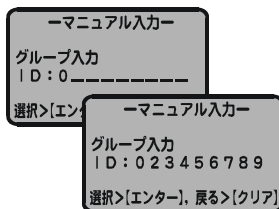
下記の手順で、特定の船舶局または海岸局をグループ単位で呼び出すことができます。

1. 【コール(エンター)メニュー】ボタンを短く押します。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して「グループコール」を選び、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。
3. 【▼】/【▲】ボタンを押して「マニュアル」を選び、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。

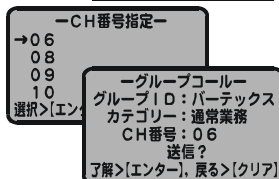


あらかじめ、呼び出したいグループが「グループアドレス帳」に登録してある場合は、そのグループを選んで【コール(エンター)メニュー】ボタンを押し、操作5.へ進みます。(登録方法は36ページの“DSC設定(グループアドレス帳)”を参照してください)。

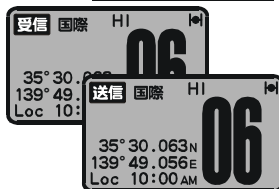
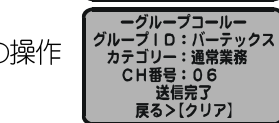
4. 【▼】/【▲】ボタン(数字の選択)と【H/L(On)】/【コール(エンター)メニュー】ボタン(桁の移動)を操作して呼び出したいグループのグループ番号(9桁)を入力し、【コール(エンター)メニュー】ボタンを長押しして確定します(グループ番号は、初めの桁が“0”に固定されます)。
5. 【▼】/【▲】ボタンを押して通話チャンネルを選び、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。



6. もう一度【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。
『グループ呼び出し』を送出し、チャンネルが自動的に上記の操作5.で設定したチャンネルに移ります。



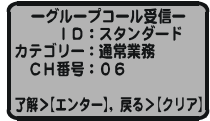
7. 【クリア(ストロボ)】ボタンを押します。
通常の運用方法に戻ります。
8. 【送信(PTT)】ボタンを押しながらマイクに向かって、呼び出したグループと交信します。



グループコール

『グループコール』を受けると...

1. 他船からの『グループコール』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイにグループ名(またはID番号)を表示します。また、チャンネルが自動的に、『グループコール』を行った局が指定したチャンネルに変わります。
2. **【クリア(ストロボ)】** ボタンを押してアラーム音を止めます。他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. **【コール(エンター)メニュー】** ボタンを押します。通常の運用方法に戻ります。

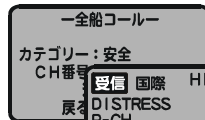
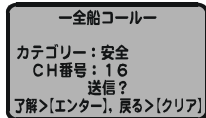
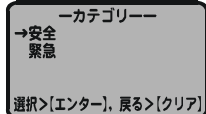
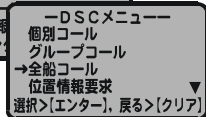
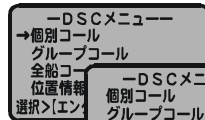


全船コール

『全船コール』のしかた

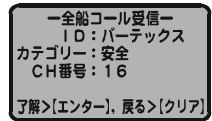
自船でエンジン・トラブルなどの緊急事態が生じた場合には、下記の手順で『全船コール』を送出して、救援を要請してください。

1. 【コール(エンター)メニュー】ボタンを短く押します。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して「全船コール」を選び、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。
3. 【▼】/【▲】ボタンを押してカテゴリー(「安全」または「緊急」)を選び、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。
4. もう一度【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。
『全船コール』を送出し、チャンネルが自動的に緊急連絡用チャンネル“CH16”になります。
5. 【クリア(ストロボ)】ボタンを押します。
ディスプレイの表示が、通常の表示に戻ります。
6. 【送信(PTT)】ボタンを押しながらマイクに向かって、次の情報をゆっくり、はっきり伝えます。
 - 1) メーデー、メーデー、メーデー
 - 2) こちらは「船名または自船のID番号」です。(3回繰り返し伝えます)
 - 3) メーデー
 - 4) こちらは「船名または自船のID番号」です。
 - 5) 自船の位置(緯度/経度)
 - 6) 遭難の状況
 - 7) 要請する救助次項
 - 8) 救助を待つ人数
 - 9) その他、救助の役に立つ情報(船の大きさ、色、タイプなど)
 - 10) どうぞ



『全船コール』を受けると...

1. 他船からの『全船コール』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイに『全船コール』を行った局の船名(またはID番号)を表示します。また、チャンネルが自動的に緊急連絡用チャンネル“CH16”に変わります。
2. **【クリア(ストロボ)】** ボタンを押してアラーム音を止めます。他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. **【コール(エンター)メニュー】** ボタンを押します。通常の運用方法に戻ります。

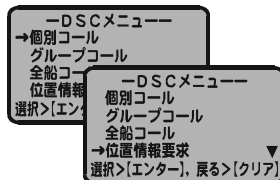


位置情報要求

『位置情報要求』のしかた

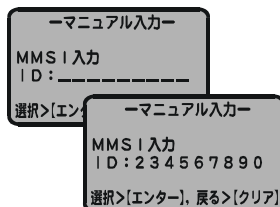
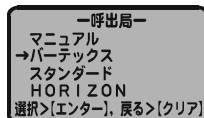
下記の手順で、特定の局(船舶局)の現在位置(緯度/経度)を知ることができます。

1. 【コール(エンター)メニュー】ボタンを短く押します。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して「位置情報要求」を選び、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。
3. 【▼】/【▲】ボタンを押して「マニュアル」を選び、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。

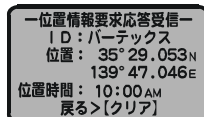
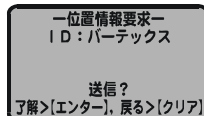


あらかじめ、現在位置を知りたい局(船舶)が「個別アドレス帳」に登録してある場合は、その局を選んで【コール(エンター)メニュー】ボタンを押し、操作5.へ進みます。(登録方法は36ページの“DSC設定(個別アドレス帳)”を参照してください)。

4. 【▼】/【▲】ボタン(数字の選択)と【H/L(On)】/【コール(エンター)メニュー】ボタン(桁の移動)を操作して呼び出した局のID番号(9桁)を入力し、【コール(エンター)メニュー】ボタンを長押しして確定します。



5. もう一度【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。
『位置情報要求』を送出し、呼び出した局からの応答を待ちます。
6. 呼び出した局から応答があると、呼び出し音が鳴るとともに、ディスプレイに呼び出した局の現在位置(緯度/経度)を表示します。
7. 【クリア(ストロボ)】ボタンを押してアラーム音を止めます。
他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
8. もう一度【クリア(ストロボ)】ボタンを押します。
通常の運用方法に戻ります。

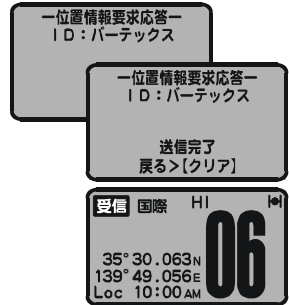


位置情報要求

『位置情報要求』を受けると...

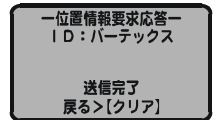
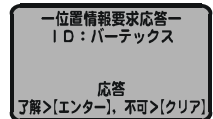
自動応答機能が“ON”の場合

1. 他船からの『位置情報要求』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、自船の位置情報を送出します。
2. 【クリア(ストロボ)】ボタンを押してアラーム音を止めます。他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. もう一度【クリア(ストロボ)】ボタンを押します。通常の運用方法に戻ります。



自動応答機能が“OFF”の場合

1. 他船からの『位置情報要求』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイに『位置情報要求』を行った局のID番号(または船名)を表示します。
2. 【クリア(ストロボ)】ボタンを押してアラーム音を止めます。他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. 位置情報を知らせたくないときには【クリア(ストロボ)】ボタンを押します。通常の運用方法に戻ります(以上で操作は終了です)。
4. 位置情報を知らせなくてもよいときは【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。『位置情報要求』を行った局に対して自船の位置情報を送出します。
5. 【クリア(ストロボ)】ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。



メモ

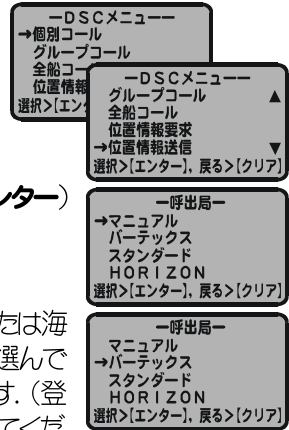
自動応答機能の“ON/OFF”切り替えは、設定メニュー操作で行います。詳しくは45ページの設定メニュー操作「DSC設定(位置情報応答)」をご覧ください。お買い上げ時は、応答機能“ON(自動)”に設定されています。

位置情報送信

『位置情報送信』のしかた

下記の手順で、特定の船舶局または海岸局に、自船の現在位置(緯度/経度)を知らせることができます。

1. 【コール(エンター)メニュー】ボタンを短く押します。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して「位置情報送信」を選び、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。
3. 【▼】/【▲】ボタンを押して「マニュアル」を選び、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。



あらかじめ、自船の位置情報を伝えたい相手局(船舶局または海岸局)が「個別アドレス帳」に登録してある場合は、その局を選んで【コール(エンター)メニュー】ボタンを押し、操作5へ進みます。(登録方法は36ページの“DSC設定(個別アドレス帳)”を参照してください)。

4. 【▼】/【▲】ボタン(数字の選択)と【H/L(On)】/【コール(エンター)メニュー】ボタン(桁の移動)を操作して自船の位置情報を伝えたい相手局(船舶局または海岸局)のID番号(9桁)を入力し、【コール(エンター)メニュー】ボタンを長押しして確定します。
5. もう一度【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。相手局に自船の現在位置を送出します。
6. 【クリア(ストロボ)】ボタンを押します。通常の運用方法に戻ります。



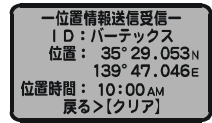
メモ

設定メニュー操作の「位置情報送信タイマー」を動作させると、最後に「位置情報送信」を行った局に対して、一定の時間間隔で自局の位置情報(現在位置:緯度経度)を自動的に送ります。自船の航跡を知らせない場合に大変便利な機能です。詳しい設定方法は、45ページの設定メニュー操作「DSC設定(位置情報送信タイマー)」をご覧ください。

位置情報送信

『位置情報送信』を受けると...


1. 他船からの『位置情報送信』を受けると、呼び出し音が鳴るとともに、ディスプレイに『位置情報送信』を送出した局の現在位置(緯度/経度)を表示します。
2. **【クリア(ストロボ)】**ボタンを押してアラーム音を止めます。
他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. もう一度**【クリア(ストロボ)】**ボタンを押します。
通常の運用方法に戻ります。



DSCログ (受信履歴ファイル)

本機は、受信した『遭難通報』を最大15メッセージ、『DSCコール』※を最大32メッセージ保存します。

保存方式は「先入れ先出し」方式で、最大数(遭難通報で15メッセージ、DSCコールで32メッセージ)まで保存したあとに新しいメッセージを受信すると、一番古いメッセージが自動的に消去され、常に最新のメッセージを保存します。

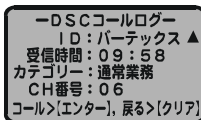
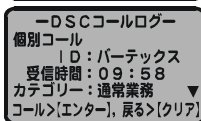
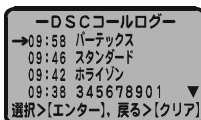
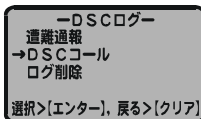
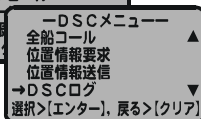
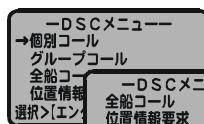
また、無線機から離れていたときに『個別コール』を受けたときのように、未読のメッセージがある場合には、ディスプレイに“”アイコンが点灯します。



※: 『個別コール』、『グループコール』、『全船コール』、『位置情報要求』、『位置情報送信』の5種類の呼び出し方法を総称して『DSCコール』と呼びます。

DSCログの見かた

1. **【コール(エンター)メニュー】** ボタンを短く押します。
2. **【▼】/【▲】** ボタンを押して「DSCログ」を選び、**【コール(エンター)メニュー】** ボタンを押します。
3. **【▼】/【▲】** ボタンを押して確認したい区分(「遭難通報」または「DSCコール」)を選び、**【コール(エンター)メニュー】** ボタンを押します。
未読のメッセージがある場合は、「遭難通報」または「DSCコール」の文字が点滅します。
4. **【▼】/【▲】** ボタンを押して確認したいメッセージを選びます。
未読のメッセージは、文字列が点滅します。
5. **【コール(エンター)メニュー】** ボタンを押すと、メッセージを表示します。
【▼】/【▲】 ボタンで表示を上下に移動させ、内容の詳細を確認することができます。
確認したメッセージが『個別コール』の場合には、**【コール(エンター)メニュー】** ボタンを押すことで、呼び出しを行った局に対して『個別コール』を送出することができます。
6. **【クリア(ストロボ)】** ボタンを押します。
通常の運用方法に戻ります。

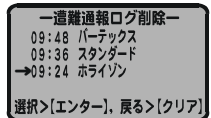
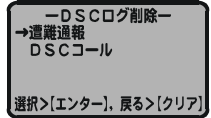


DSCログ (受信履歴ファイル)

DSCログの削除

保存されたメッセージは、保存数が最大数(遭難通報で15メッセージ、DSCコールで32メッセージ)を超えると、新しいメッセージを受信するたびに古いメッセージが古い順に順次に削除されていきますが、下記の操作を行うことにより、手動で削除することも可能です。

1. **【コール(エンター)メニュー】** ボタンを短く押します。
2. **【▼】/【▲】** ボタンを押して「DSCログ」を選び、**【コール(エンター)メニュー】** ボタンを押します。
3. **【▼】/【▲】** ボタンを押して「ログ削除」を選び、**【コール(エンター)メニュー】** ボタンを押します。
4. **【▼】/【▲】** ボタンを押して削除したいメッセージが保存されている区分(「遭難通報」または「DSCコール」)を選び、**【コール(エンター)メニュー】** ボタンを押します。
未読のメッセージがある場合は、「遭難通報」または「DSCコール」の文字が点滅します。
5. **【▼】/【▲】** ボタンを押して削除したいメッセージを選びます。
未読のメッセージは、文字列が点滅します。
6. **【コール(エンター)メニュー】** ボタンを長押しすると、確認を発して選択したメッセージが削除されます。
7. **【クリア(ストロボ)】** ボタンを押します。
通常の運用方法に戻ります。



テストコール

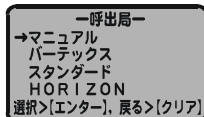
『テストコール』のしかた

下記の手順で、特定の船舶局または海岸局にテスト信号を送出することができます。

1. 【コール(エンター)メニュー】ボタンを短く押します。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して「テストコール」を選び、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。

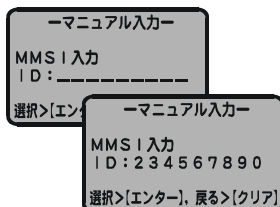


3. 【▼】/【▲】ボタンを押して「マニュアル」を選び、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。

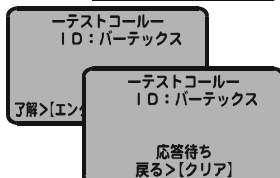


あらかじめ、テストコールを送りたい局(船舶局または海岸局)が「個別アドレス帳」に登録してある場合は、その局を選んで【コール(エンター)メニュー】ボタンを押し、操作5.へ進みます。(登録方法は36ページの“DSC設定(個別アドレス帳)”を参照してください)。

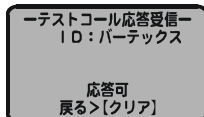
4. 【▼】/【▲】ボタン(数字の選択)と【H/L(On)】/【コール(エンター)メニュー】ボタン(桁の移動)を操作してテストコールを送りたい局のID番号(9桁)を入力し、【コール(エンター)メニュー】ボタンを長押しして確定します。



5. もう一度【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。自動的に送信状態になって相手局にテストコールを送出し、その後、相手局からの応答を待ちます。



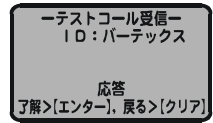
6. 呼び出した局からの『応答メッセージ』を受信すると、呼び出し音が鳴るとともに、ディスプレイが右に示すような表示に変わります。
7. 【クリア(ストロボ)】ボタンを押してアラーム音を止めます。他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
8. もう一度【クリア(ストロボ)】ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。



テストコール

『テストコール』を受けると...

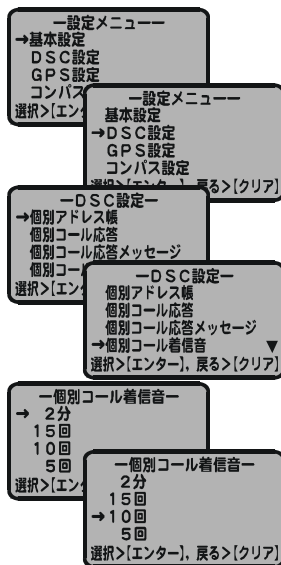
1. 他船からの『テストコール』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイに『テストコール』を行った局のID番号(または船名)を表示します。
2. **【クリア(ストロボ)】** ボタンを押してアラーム音を止めます。
他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. **【コール(エンター)メニュー】** ボタンを押すと、相手局に『応答メッセージ』を送ります。
4. **【クリア(ストロボ)】** ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。



設定メニュー操作

操作方法

1. 【コール(エンター)メニュー】ボタンを長押しします。
設定メニューが表示されます。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して、変更したい項目が含まれる大項目(基本設定 / DSC設定 / GPS設定 / コンパス設定)を選び【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。
大項目内の変更項目を選択できるようになります(次ページ参照)。
3. 【▼】/【▲】ボタンを押して変更したい項目を選び、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。
4. 【▼】/【▲】ボタンを押して設定を変更し、【コール(エンター)メニュー】ボタンを押します。
5. 【16/9】ボタンを押して設定メニューを終了します。



設定メニュー操作

	項目	機能説明	選択できる項目※
基本設定	表示選択	GPS情報の表示方法を選択します。	ノーマル表示 / 位置表示 / 位置、移動情報表示 / コンパス表示 / GPSステータス表示
	照明	照明の明るさを調節します。	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 明
	コントラスト	ディスプレイのコントラストを調節します。	0 ~ 19 (9)
	照明タイマー	照明の点灯時間を設定します。	OFF / 1秒 / 2秒 / 3秒 / 4秒 / 5秒 / 6秒 / 8秒 / 10秒 / 12秒 / 15秒 / 20秒 / 25秒 / 30秒 / ON
	プライオリティーCH	プライオリティチャンネルを選択します	全チャンネルから選択可能 (CH16)
	スキャンタイプ	スキャンの動作方法を選択します。	プライオリティスキャン / メモリスキャン
	スキャンストップ時間	スキャン動作中、信号が無くなってからスキャンが再開するまでの時間を選択します。	OFF / 1秒 / 2秒 / 3秒 / 4秒 / 5秒
	操作音	ボタンを押したときに鳴る、操作者の音量を設定します。	OFF / レベル1 / レベル2 / レベル3 / レベル4 / レベル5 / レベル6 / 高い
	CHネーム	チャンネル名の変更/入力を行います。	全チャンネル変更可能
	LED設定	LEDランプの点灯動作を選択します。	送信LED: ON / OFF 受信LED: ON / OFF ストップLED: 点灯 / SOS / 点滅1 / 点滅2
DSC設定	個別アドレス帳	個別呼出を行うときに使用する、アドレス帳の登録/編集/削除を行います。	-
	個別コール応答	呼び出しを受けたとき、自動で応答するか否かを選択します。	自動 / 手動
	個別コール応答メッセージ	呼び出しを受けたときに送出する、応答メッセージを選択します。	応答可 / 応答不可
	個別コール着信音	呼び出し音の鳴る回数を設定します。	2分 / 15回 / 10回 / 5回
	グループアドレス帳	グループ呼出を行うときに使用するアドレス帳の登録/編集/削除を行います。	-
	位置情報送信タイマー	最後の位置情報送信を行った局に対して、一定時間の間隔で自局の位置情報を自動的に送信します。	マニュアル / 15分オート / 30分オート / 1時間オート
	位置情報応答	船位要求呼び出しを受けたとき、自動で応答するか否かを選択します。	自動 / 手動
	位置情報入力	自分(自船)の位置(緯度/経度)を手動で設定/送出することができます。	-
	DSC着信音	各種呼び出し音の設定を行います。	個別コール: ON / OFF グループコール: ON / OFF 全船コール: ON / OFF 位置情報要求: ON / OFF 位置情報送信: ON / OFF
	DSCスキャン	DSCスキャンを行うか否かの選択をします。	ON / OFF
ユーザーMMSI	自局のD番号(MMSI番号)の登録を行います	-	
GPS設定	GPS電源	GPSユニットの電源を"ON"/"OFF"します。	ON / OFF
	セーブモード	GPSユニットの低消費電力モードを選択します。	OFF / レベル1 / レベル2 / レベル3 / レベル4
	位置表示タイプ	GPS情報の『位置表示』の単位を選択します。	ddd mm ss / ddd mmrmm / ddd mm.mmm
	シフト時間	『UTC時間』と『現地時間』の差を設定します。	-12:00 ~ 00:00 ~ +12:00 (+09:00)
	タイムゾーン	GPSから得た『時間情報』の表示形式を選択します。	国際標準時間 / 地域時間
	時間単位	GPSから得た『時間情報』の表示形式を選択します。	24時間 / 12時間
	速度単位	GPS情報の『速度表示』の単位を選択します。	KTS:ノット / MPH:マイル/時 / Km/h:キロメートル/時
	位置データ	ディスプレイに表示するGPS情報の出所を選択します。	内部GPS / 外部 I/O port
	データ出力	GPSユニットから出力される各種データを、項目ごとに"ON"/"OFF"することができます。	GLL: ON / OFF GGA: ON / OFF GSA: ON / OFF GSV: ON / OFF RMC: ON / OFF
	高度単位	GPS情報の『高度表示』の単位を選択します。	m (メートル) / ㍎ (フィート)
コンパス設定	表示方向	GPS情報の表示方法が『コンパス表示』のとき、『コンパス表示』の表示レイアウトを選択します。	北方向を上 / 進行方向を上
	データ表示	GPS情報の表示方法が『コンパス表示』のとき、『コンパス表示』の下に表示する項目を選択します。	速度 / 方位

※:太文字は、お買い上げ時に設定されている値です。

設定メニュー操作

基本設定 (表示選択)

機能：GPS情報の表示方法を選択します。

選択項目：ノーマル表示 / 位置表示 / 位置, 移動情報表示 / コンパス表示 / GPSステータス表示

お買い上げ時：位置表示

ノーマル表示： GPS情報の表示せず、音量調節レベル、スケルチ調節レベル、運用チャンネルを表示します。

位置表示： GPSから得た自船の位置(緯度/経度)と運用チャンネルを表示します。

位置, 移動情報表示： GPSから得た自船の位置(緯度/経度)と運用チャンネルを表示します。

コンパス表示： 自船が向かっている方角と運用チャンネルを表示します。

GPSステータス表示： GPSから得た自船の位置(緯度/経度)と、現在受信しているGPS衛星の位置と信号の強さを表示します。



ノーマル表示



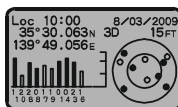
位置表示



位置, 移動情報表示



コンパス表示



GPSステータス表示

基本設定 (照明)

機能：照明の明るさを調節します。

選択項目：OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 明

お買い上げ時：明

基本設定 (コントラスト)

機能：ディスプレイのコントラストを調節します。

選択項目：0 ~ 19

お買い上げ時：9

基本設定 (照明タイマー)

機能：照明の点灯時間を設定します。

選択項目：OFF / 1秒 / 2秒 / 3秒 / 4秒 / 5秒 / 6秒 / 8秒 / 10秒 / 12秒 / 15秒 / 20秒 / 25秒 / 30秒 / ON

お買い上げ時：5秒

基本設定 (プライオリティー CH)

機能：プライオリティーチャンネル(優先チャンネル)を選択します

選択項目：全チャンネル

お買い上げ時：CH16(チャンネル16)

設定メニュー操作

基本設定 (スキャンタイプ)

機能：スキャンの動作方法を選択します。

選択項目：プライオリティースキャン / メモリースキャン

お買い上げ時：プライオリティースキャン

プライオリティースキャン：プライオリティチャンネル(優先チャンネル:お買い上げ時はCH16)とプリセットチャンネルを自動的に順番に受信します

メモリースキャン：プリセットチャンネルだけを自動的に順番に受信します。

基本設定 (スキャンストップ時間)

機能：スキャン動作中、信号が無くなってからスキャンが再開するまでの時間を選択します。

選択項目：OFF / 1秒 / 2秒 / 3秒 / 4秒 / 5秒

お買い上げ時：2秒

基本設定 (操作音)

機能：ボタンを押したときに鳴る、操作音の音量を設定します。

選択項目：OFF / レベル1 / レベル2 / レベル3 / レベル4 / レベル5 / レベル6 / レベル7

お買い上げ時：レベル5

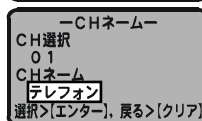
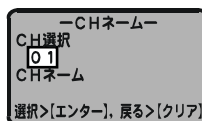
設定した操作音量は、受信音の音量調節に合わせて変化します。

基本設定 (CHネーム)

機能：チャンネル名の変更/入力を行います。

変更/入力方法

1. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
2. **【▼】/【▲】**ボタンを押して、名前を変更/入力したいチャンネルを呼び出します。
3. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
4. 下記のボタンを操作して、新しいチャンネル名をつけます(最大11文字)。使用できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字の3種類です。
【▼】/【▲】ボタン: 文字の選択
【H/L (🔊)】/【コール(エンター)メニュー】ボタン: 桁の移動
【クリア(ストロボ)】ボタン: 文字の消去
5. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを長押しします。
6. 続けて他のチャンネルの名前も変更/入力するときには、上記の操作 1. から 4. を繰り返します。
7. **【クリア(ストロボ)】**ボタンを押します。



設定メニュー操作

基本設定 (LED 設定)

機能：LEDランプの点灯動作を選択します。

選択項目： 送信LED：ON / OFF
受信LED：ON / OFF
ストロボLED：点灯 / SOS / 点滅1 / 点滅2

お買い上げ時：送信LED：ON

受信LED：ON
ストロボLED：点灯

ストロボLED 点灯：LEDランプが白色高輝度で点灯します。

ストロボLED SOS：LEDランプがモールス符号のSOS(… --- …)にあわせて、白色高輝度で点滅します。

ストロボLED 点滅1：LEDランプが白色高輝度で速く点滅します。

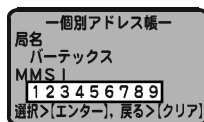
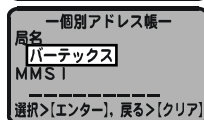
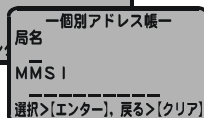
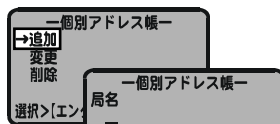
ストロボLED 点滅2：LEDランプが白色高輝度でゆっくり点滅します。

DSC設定 (個別アドレス帳)

機能：個別呼出を行うときに使用する、アドレス帳の登録/編集/削除を行います。

登録方法

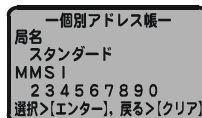
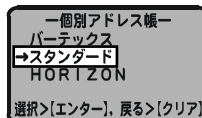
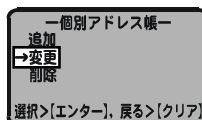
1. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
2. **【▼】/【▲】**ボタンを押して「追加」を選び、**【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
3. 下記のボタンを操作して、登録したい局(船舶局または海岸局)の局名を入力します(最大11文字)。使用できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字の3種類です。
【▼】/【▲】ボタン：文字の選択
【H/L (On)】/【コール(エンター)メニュー】ボタン：桁の移動
【クリア(ストロボ)】ボタン：文字の消去
4. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを長押しします。
5. 下記のボタンを操作して、登録したい局のID番号(9桁)を入力します。使用できる文字は数字だけです。
【▼】/【▲】ボタン：数字の選択
【H/L (On)】/【コール(エンター)メニュー】ボタン：桁の移動
【クリア(ストロボ)】ボタン：数字の消去
6. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを長押しします。
7. 続けて他の局も登録するときには、上記の操作2. から6. を繰り返します。
8. **【クリア(ストロボ)】**ボタンを押します。



設定メニュー操作

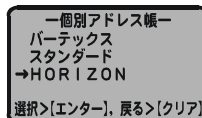
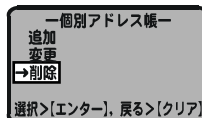
編集方法

1. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
2. **【▼】/【▲】**ボタンを押して「編集」を選び、**【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
3. **【▼】/【▲】**ボタンを押して編集したい局を選び、**【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
4. 以後の操作方法は上記の「登録方法」と同じです。



削除方法

1. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
2. **【▼】/【▲】**ボタンを押して「削除」を選び、**【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
3. **【▼】/【▲】**ボタンを押して削除したい局を選びます。
4. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを長押しします。
削除されます。



DSC設定 (個別コール応答)

機能：呼び出しを受けたとき、自動で応答するか否かを選択します。

選択項目：自動 / 手動

お買い上げ時：自動

DSC設定 (個別コール応答メッセージ)

機能：呼び出しを受けたときに送出する、応答メッセージを選択します。

選択項目：応答可 / 応答不可

お買い上げ時：応答可

DSC設定 (個別コール着信音)

機能：呼び出し音の鳴る回数を設定します。

選択項目：2分 / 15回 / 10回 / 5回

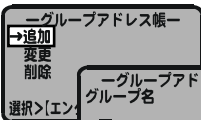
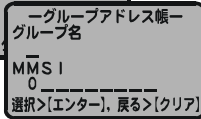
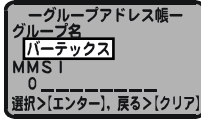
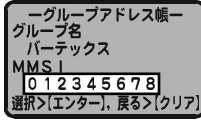
お買い上げ時：15回

設定メニュー操作

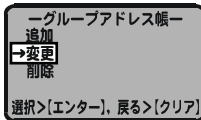
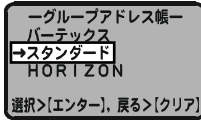
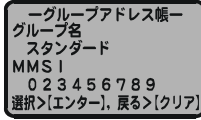
DSC設定 (グループアドレス帳)

機能：グループ呼出を行うときに使用するアドレス帳の登録/編集/削除を行います。

登録方法

1. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
2. **【▼】/【▲】**ボタンを押して「追加」を選び、**【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
3. 下記のボタンを操作して、登録したいグループ名を入力します(最大11文字)。
使用できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字の3種類です。
【▼】/【▲】ボタン: 文字の選択
【H/L (On)】/【コール(エンター)メニュー】ボタン: 桁の移動
【クリア(ストロボ)】ボタン: 文字の消去
4. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを長押しします。
5. 下記のボタンを操作して、グループ番号(9桁)を入力します(グループ番号は、初めの桁が“0”に固定されます)。
使用できる文字は数字だけです。
【▼】/【▲】ボタン: 数字の選択
【H/L (On)】/【コール(エンター)メニュー】ボタン: 桁の移動
【クリア(ストロボ)】ボタン: 数字の消去
6. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを長押しします。
7. 続けて他のグループ局も登録するときには、上記の操作2. から6. を繰り返します。
8. **【クリア(ストロボ)】**ボタンを押します。

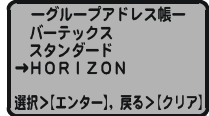
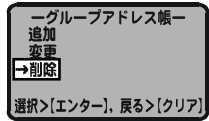
編集方法

1. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
2. **【▼】/【▲】**ボタンを押して「編集」を選び、**【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
3. **【▼】/【▲】**ボタンを押して編集したい局を選び、**【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
4. 以後の操作方法は上記の「登録方法」と同じです。
注:グループ番号の先頭桁は“0”に固定されており、変更することはできません

設定メニュー操作

削除方法

1. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
2. **【▼】/【▲】**ボタンを押して「削除」を選び、**【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
3. **【▼】/【▲】**ボタンを押して削除したいグループを選びます。
4. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを長押しします。
削除されます。



DSC設定 (位置情報送信タイマー)

機能：最後に「位置情報送信」を行った局に対して、一定の時間間隔で自局の位置情報（現在位置：緯度経度）を自動的に送出します。自船の航跡を知らせたい場合に大変便利です。

選択項目：マニュアル/15分オート/30分オート/1時間オート

お買い上げ時：マニュアル

マニュアル：

自動的に「位置情報送信」は行いません。

「位置情報送信」を行う場合には、32ページを参考に、マニュアル操作で行ってください。

15分オート/30分オート/1時間オート：選択した時間(15分、30分、時間)ごとに、最後に「位置情報送信」を行った局に対して、自局の位置情報を自動的に送出します。また、ディスプレイに「A」のアイコンが点灯します。



DSC設定 (位置情報応答)

機能：船位要求呼び出しを受けたとき、自動で応答するか否かを選択します。

選択項目：自動 / 手動

お買い上げ時：自動

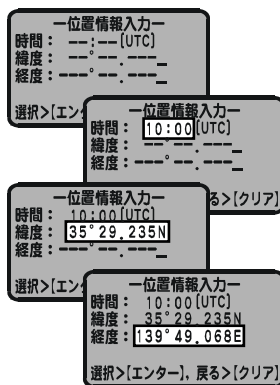
設定メニュー操作

DSC設定 (位置情報入力)

機能：自分(自船)の位置(緯度/経度)を手動で入力/送出することができます。

入力方法

1. **【コールエンター】メニュー**ボタンを押します。
2. 下記のボタンを操作して、現在時間(24時間制)と現在位置(緯度/経度)を入力します。
【▼】/【▲】ボタン: 文字の選択
【H/L (Om)】/【コールエンター】ボタン: 桁の移動
【クリア(ストロボ)】ボタン: 文字の消去
3. **【コールエンター】メニュー**ボタンを長押しします。



DSC設定 (DSC着信音)

機能：各種呼び出し音の設定を行います。

選択項目： 個別コール： ON / OFF
グループコール： ON / OFF
全船コール： ON / OFF
位置情報要求： ON / OFF
位置情報送信： ON / OFF

お買い上げ時： 個別コール： ON
グループコール： ON
全船コール： ON
位置情報要求： ON
位置情報送信： ON

DSC設定 (DSCスキャン)

機能：DSCスキャンを行うか否かの選択をします。

選択項目： ON / OFF

お買い上げ時： ON

設定メニュー操作

DSC設定 (ユーザーMMSI)

機能：自局のID番号(MMSI番号)の登録を行います。

免許状に記載された、お客様固有のID番号(9桁のMMSI番号)を登録します。

登録方法

1. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
2. 下記のボタンを操作して、自局のID番号(MMSI番号:9桁)を入力します。

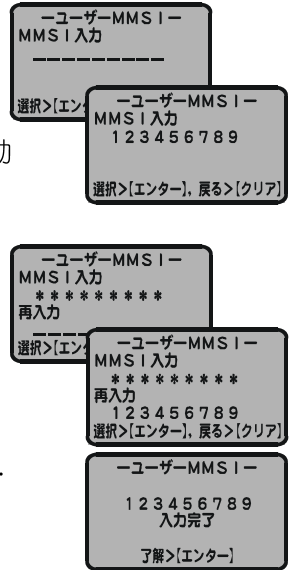
【▼】/【▲】ボタン:数字の選択

【H/L(ON)】/【コール(エンター)メニュー】ボタン:桁の移動

【クリア(ストロボ)】ボタン:数字の消去

3. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを長押しします。
4. 確認のため、もう一度自局のID番号(MMSI番号)を入力し、**【コール(エンター)メニュー】**ボタンを長押しします。

5. **【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押して、登録完了です。



GPS 設定 (GPS 電源)

機能：GPSユニットの電源を“ON”/“OFF”します。

選択項目：ON / OFF

お買い上げ時：ON

GPS 設定 (セーブモード)

機能：GPSユニットの低消費電力モードを選択します。

選択項目：OFF / レベル1 / レベル2 / レベル3 / レベル4

お買い上げ時：レベル1

OFF： GPSユニットの電源は常に“OFF”です。

レベル1： 5秒間に1回、0.4秒間GPSユニットの電源が“ON”になります。

レベル2： 1分間に1回、50秒間GPSユニットの電源が“ON”になります。

レベル3： 3分間に1回、50秒間GPSユニットの電源が“ON”になります。

レベル4： 5分間に1回、50秒間GPSユニットの電源が“ON”になります。

設定メニュー操作

GPS 設定 (位置表示タイプ)

機能：GPS情報の『位置表示』の単位を選択します。

選択項目：ddd mm ss / ddd mm.mm / ddd mm.mmm

お買い上げ時：ddd mm.mmm

ddd mm ss: 位置表示(緯度/経度)を『度・分・秒』で表示します。

ddd mm.mm: 位置表示(緯度/経度)を『度・分(2桁)』で表示します。

ddd mm.mmm: 位置表示(緯度/経度)を『度・分(3桁)』で表示します。

GPS 設定 (シフト時間)

機能：『UTC時間』と『現地時間』の差を設定します。

選択項目：-12:00 ~ 00:00 ~ +12:00

お買い上げ時：+09:00

GPS 設定 (タイムゾーン)

機能：GPSから得た『時間情報』の表示形式を選択します。

選択項目：国際標準時間 / 地域時間

お買い上げ時：地域時間

GPS 設定 (時間単位)

機能：GPSから得た『時間情報』の表示形式を選択します。

選択項目：24時間 / 12時間

お買い上げ時：24時間

GPS 設定 (速度単位)

機能：GPS情報の『速度表示』の単位を選択します。

選択項目：Kts(ノット) / MPH(マイル/時) / Kmh(キロメートル/時)

お買い上げ時：Kts(ノット)

GPS 設定 (位置データ)

機能：ディスプレイに表示するGPS情報の出所を選択します。

選択項目：内部GPS / 外部 I/O port

お買い上げ時：内部GPS

設定メニュー操作

GPS 設定 (データ出力)

機能：GPSユニットから出力される各種データを、項目ごとに“ON”/“OFF”することができます。

選択項目： GLL: ON / OFF
GGA: ON / OFF
GSA: ON / OFF
GSV: ON / OFF
RMC: ON / OFF

お買い上げ時： GLL: OFF
GGA: OFF
GSA: OFF
GSV: OFF
RMC: OFF

GPS 設定 (高度単位)

機能：GPS情報の『高度表示』の単位を選択します。

選択項目： m (メートル) / ft (フィート)

お買い上げ時： m (メートル)

コンパス設定 (表示方向)

機能：GPS情報の表示方法が『コンパス表示』のとき、『コンパス表示』の表示レイアウトを選択します。

選択項目： 北方向を上 / 進行方向を上

お買い上げ時： 北方向を上

コンパス設定 (データ表示)

機能：GPS情報の表示方法が『コンパス表示』のとき、『コンパス表示』の下に表示する項目を選択します。

選択項目： 速度 / 方位

お買い上げ時： 速度

付属品・オプション

付属品

- **HX851J** 無線機本体
- **CAT460** ラバーアンテナ
- **FNB-V99LI** リチウムイオン電池/パック(7.4 V, 1150 mAh)
- **CD-38** 充電スタンド
- **NC-88A** 充電用ACアダプター
- **E-DC-19A** シガーライタープラグ付き外部電源アダプター
- **CLIP-19** ベルトクリップ
- ボトムカバー (マリンブルー仕様のみ)
- 取扱説明書
- 保証書

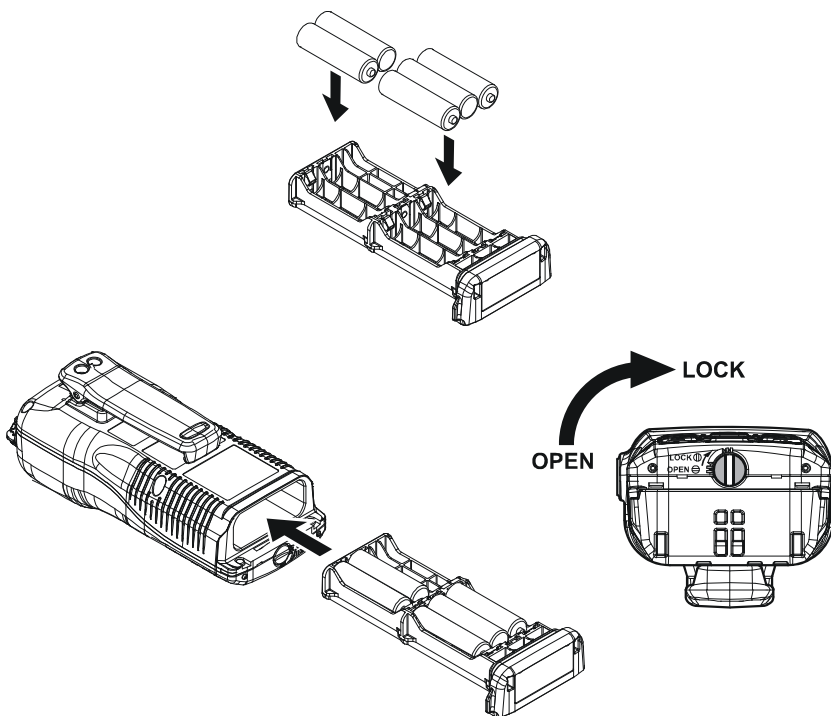
オプション

- MH-73A4B** スピーカーマイクロホン
- FNB-V99LI** リチウムイオン電池/パック (7.4 V, 1150 mAh)
- FBA-38** 乾電池ケース
- E-DC-19A** シガーライタープラグ付き外部電源アダプター

乾電池ケース (FBA-38)

オプションの乾電池ケース「FBA-38」を使用すると、単4型アルカリ電池(5本)で本機を運用することができます。

1. 下図を参考に、乾電池ケース「FBA-38」に単4型アルカリ電池(5本)を挿入します。
2. 付属の電池/パック「FNB-V99LI」を取り付けるときの同じ要領で、乾電池ケース「FBA-38」を無線機底面の電池/パック取り付け穴に差し込みます。
3. 無線機底面にあるロックつまみをコイン等を利用して「LOCK」の位置までまわして取り付け終了です。



×モ

乾電池ケース「FBA-38」を使用したときは、本機の最大送信電力は“5W”です。

定格

一般定格

周波数範囲:	156.025 MHz ~ 162.000 MHz (詳細は次ページを参照してください)
周波数ステップ:	25 kHz
周波数安定度:	±10 ppm (−20 °C ~ +60 °C)
電波型式:	音声:F3E, DSC:F2B
アンテナ・インピーダンス:	50 Ω
電源電圧:	DC 7.4V DC, マイナス接地
消費電流:	350 mA (受信最大音量時) 110 mA (受信無信号時, GPS受信機“ON”) 75 mA (受信無信号時, GPS受信機“OFF”) 1.5 A / 1.3 A / 1.0 A / 0.7 A (送信時: 5 W / 4 W / 2.5W / 1W)
電池持続時間:	約7時間(送信5, 受信5, 待ち受け90の繰り返し)
入力NMEAフォーマット:	GLL / GGA / RMC
出力NMEAフォーマット:	DSC / DSE / GLL / GGA / GSA / GSV / RMC
使用温度範囲:	−20 °C ~ +60 °C
本体寸法 (突起物を除く):	62.5 x 141.5 x 45 mm (幅 x 高さ x 奥行)
本体重量:	約347 g (アンテナ, 電池パック, ベルトクリップを含む)

送信部

送信出力:	5 W / 4 W / 2.5 W / 1 W (電源電圧7.4 V時)
変調方式:	/バリアブル・リアクタンس変調
最大周波数偏移:	±5 kHz
不要輻射強度:	−75 dBc
マイクロホン・インピーダンス:	2 kΩ

受信部

受信方式:	ダブルコンバージョン・スーパーヘテロダイン
中間周波数:	第一: 47.25 MHz, 第二: 450 kHz
受信感度:	0.25 μV (12 dB SINAD)
選択度:	12 kHz / 25 kHz (−6 dB / −60 dB)
近接チャンネル選択度:	約70 dB
相互変調歪:	約70 dB
S/N比:	約40 dB
低周波出力:	700 mW @16 Ω for 10 % THD (電源電圧7.4V, 内部スピーカー使用時)

GPS 受信部

受信チャンネル数: 12チャンネル
 受信感度: -130 dBm以上
 衛星捕捉時間: 約1分(環境による)
 測地系: WGS84

チャンネル表

チャンネル	送信周波数 (MHz)	受信周波数 (MHz)	備考	チャンネル	送信周波数 (MHz)	受信周波数 (MHz)	備考
01	156.050	160.650		60	156.025	160.625	
02	156.100	160.700		61	156.075	160.675	
03	156.150	160.750		62	156.125	160.725	
04	156.200	160.800		63	156.175	160.775	
05	156.250	160.850		64	156.225	160.825	
06	156.300	156.300	すべての船舶相互間用	65	156.275	160.875	
07	156.350	160.950		66	156.325	160.925	
08	156.400	156.400	すべての船舶相互間用	67	156.375	156.375	
09	156.450	156.450	遭難・緊急・安全・一般呼出用*	68	156.425	156.425	
10	156.500	156.500	すべての船舶相互間用	69	156.475	156.475	小型船舶間同士用
11	156.550	156.550	海上保安庁等の海岸局用	70	—	156.525	DSC専用
12	156.600	156.600	海上保安庁等の海岸局用	71	156.575	156.575	所属海岸局用
13	156.650	156.650	船舶相互間・海上保安庁海岸局*	72	156.625	156.625	小型船舶間同士用
14	156.700	156.700	海上保安庁等の海岸局用	73	156.675	156.675	小型船舶間同士用
15	156.750	156.750		74	156.725	156.725	所属海岸局用
16	156.800	156.800	遭難・緊急・安全・一般呼出用*	75	156.775	156.775	
17	156.850	156.850		76	156.825	156.825	
18	156.900	161.500		77	156.875	156.875	一般呼出・応答用
19	156.950	161.550		78	156.925	161.525	
20	157.000	161.600		79	156.975	161.575	
21	157.050	161.650		80	157.025	161.625	
22	157.100	161.700		81	157.075	161.675	
23	157.150	161.750		82	157.125	161.725	
24	157.200	161.800		83	157.175	161.775	
25	157.250	161.850		84	157.225	161.825	
26	157.300	161.900		85	157.275	161.875	
27	157.350	161.950		86	157.325	161.925	所属海岸局用
28	157.400	162.000		87	157.375	157.375	
—	—	—	—	88	157.425	157.425	

※チャンネル“09”と“13”は、チャンネル“16”が使用中の場合に使用します。
 免許状に記載されたチャンネルで運用してください。

STANDARD HORIZON

Nothing takes to water like Standard Horizon

©2013 八重洲無線株式会社
無断転載・複写を禁ず

八重洲無線株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル



E M 0 3 1 N 0 0 3